

女性のための小さなビジネス支援事業【岐阜県】

総事業費	4,582 千円
交付金額	3,436 千円

地域の実情と課題

- ◆地域の実情
 - 女性労働力については、結婚、出産、子育てを機に一旦離職するケースが多く、30～39歳の有業率は他に比べて低い水準にある。(M字カーブ)
 - 当県では、20代30代の若い女性の県外流出が顕著であり、理由は「職業上」を理由としている。
- ◆課題
 - 都市部のように様々な働き口があるわけではない中、女性が愛着を持つ地元に住み続けるためには、自ら仕事を「作り出す」必要がある。

目的・目標

○起業講座(初級編)	【目標値】80名	【達成度】74名
○起業講座(中級編)	【目標値】120名	【達成度】88名
○デジタルスキル講座	【目標値】30名	【達成度】38名
○フォローアップ相談会	【目標値】15名	【達成度】18名
○起業家	【目標値】1名	【達成度】3名

事業の特徴

- 起業を目指す女性のために必要な基礎知識に関する講座を開催。
- 起業した後の営業活動やPR活動に必要なHPやオンラインショップ制作、SNSやECサイトの活用等の実習講座を開催。
- デジタルスキルの習得途中やサイト開設後も継続的にフォローし、起業の実現と事業の継続をサポート。

連携団体

【経済・各種団体】
 県経営者協会、県商工会議所連合会、県商工会連合会、連合岐阜
 県産業経済振興センター、県信用保証協会

【行政】
 岐阜労働局、市町村

事業の効果

- 起業講座(初級編・中級編)では、起業に対する不安の解消をすることができた。
- デジタルスキル講座では、「仕事にWEBを取り入れるきっかけをもらえた」等、事業を展開していく際に重要なWEBマーケティングスキルの向上につながった。
- 交流会では、先輩起業家のトークセッションでは、内容の濃い体験談を共有し、グループワークでは同じく起業を目指す参加者と交流することで、起業への前向きな意識醸成を図ることができた。

今後の課題

- 当県では、出産・子育て期における女性の離職率が高いほか、女性管理職比率が低い等、全国と比べて女性の活躍は遅れている状況にある。自分らしく仕事と家庭を両立しながら起業を目指す女性を支援するため、起業講座等を継続実施していく。

◆女性のための小さなビジネス支援事業

女性の起業に向けた講座を開催し合わせて起業に必要なデジタルスキル講座を実施することで、女性の起業支援を実施した。

○起業講座(初級編)

[開催日]

令和7年7月

全2回

[形式]

オンライン・アーカイブ

○起業講座(中級編)

[開催日]

令和7年8月～令和7年9月

全3回

[形式]

オンライン・アーカイブ

○デジタルスキル講座

[開催日]

令和7年10月～令和7年11月

全3回

[形式]

対面

○フォローアップ相談会

[開催日]

令和7年8月～令和8年2月

[形式]

対面・オンライン

○交流会

[開催日]

令和8年2月

[形式]

対面



※写真:交流会